

基本機能のイメージ

第3回有識者委員会にて提示した基本機能と想定される諸室は以下のとおり。
各諸室の機能・規模のイメージ（案）と活動のイメージ（案）を次頁以降に示す。

基本機能	想定される諸室
ホール	多様な市民活動に対応可能な『ホール機能』
練習スペース	防音性の高い『練習室』
	文化活動を表現する・見ることのできる『見せる練習室』
交流スペース	市民活動を支え、交流を促すことのできる『交流スペース』
	『会議室』
	市民の誰もが創造し・表現することのできる文化芸術に係る『クリエイティブ空間』
展示スペース	使い勝手の良い『展示スペース兼イベントスペース』
収蔵・保管スペース	収蔵と展示を兼ね備えた『見せる収蔵庫』
駐車場	『使いやすい駐車場』 ※施設規模等に応じるため本資料では省略
育成・発信機能	※諸室は交流スペースと兼用とする

ホール

多様な市民活動に対応可能な『ホール機能』

機能・規模のイメージ

- ・ 既存の文化ホールの機能向上を図り、一定の音響性能を完備
- ・ 小規模（300～600席）を想定
- ・ 平土間空間にも対応可能

活動イメージ

- ・ 音楽・舞踊・演劇公演、式典・発表会・イベントなど多様な用途、多様な市民活動に対応

留意点

- ・ 平土間の場合（可動式の座席）、多様な用途に対応できる一方、音響性能への影響、管理コストがかかる、快適性に欠けることがある

参考施設



倉吉未来中心小ホール（最大310席）
※客席は収納可能で平土間または半平土間利用可
※音響反射板、引割緞帳等有



茨木市文化・子育て複合施設 おにクル
多目的ホール（定員245人/スタッピングチェア）
※客席床昇降機構有

練習スペース

防音性能の高い『練習室』

機能・規模のイメージ

- 防音性能を確保
- 大きさやスペック（鏡、バトン、楽器備品等）の異なる複数の練習室
- 20㎡～100㎡の幅で複数の諸室を想定
- 稼働間仕切りで複数の諸室を一体的に利用することも可能とする

活動イメージ

- 個人の楽器練習
- 合唱団・合奏団による利用
- 劇団による利用
- ダンスやバレエ利用
- 小規模イベントの開催利用 等

留意点

- 複数諸室の一体利用を想定する場合、防音性（遮音性）が減少する可能性

参考施設



高槻城公園芸術文化劇場
身体表現系中スタジオ 3 (66㎡)



富山市民芸術創造センター
練習室26(14㎡)



大和市文化創造拠点シリウス
中スタジオ(定員 5 名)

練習スペース

文化活動を表現する・見ることのできる『見せる練習室』

機能・規模のイメージ（練習室と同様）

- 防音性能を確保
- 大きさやスペック（鏡、バトン、楽器備品等）の異なる複数の練習室
- 20㎡～100㎡の幅で複数の諸室を想定
- 稼働間仕切りで複数の諸室を一体的に利用することも可能とする

活動イメージ

- 合唱団・合奏団による利用
- 劇団による利用
- ダンスやバレエ利用
- 小規模イベントの開催利用
- ワークショップの開催利用 等

留意点

- 利用者の安全、保安上の問題への懸念もあるため、それらに配慮した施設・管理運営計画の検討が必要

参考施設



アオーレ長岡（新潟県長岡市）市民交流ホール
（ホールB 210㎡、ホールC 160㎡）



高槻城公園芸術文化劇場
小スタジオ4 (33㎡)

交流スペース

市民活動を支え、交流を促すことのできる『交流スペース』

機能・規模のイメージ

- ・ オープンスペース
- ・ インフォメーションコーナーを併設
- ・ ホールや他の空間との一体利用も想定

活動イメージ

- ・ いつでも誰もが情報交換、休憩などに利用可能
- ・ マルシェや演奏会・展示等のイベント開催

参考施設



せんだいメディアテーク スタジオ

※活動団体が予約のうえ利用できる
※壁のない打合せ等ができるスペース



延岡市駅前複合施設エンクロス
待合ラウンジ

※フリーWi-Fi、電源あり
※誰でも自由に利用可能で
演奏会等のイベント実施も可能



大和市文化創造拠点シリウス
市民交流ラウンジ

※有線LAN、電源、専用の印刷スペースもあり、
セカンドオフィスとしての利用も可能
※1時間100円で利用可能

交流スペース

『会議室』

機能・規模のイメージ

- 可動机・椅子を備えた会議室
- 机・椅子を収納することにより、イベントでの利用も可能
- 40㎡～300㎡を想定
- 稼働間仕切りで複数の諸室を一体的に利用することも可能とする
- 一部練習室と機能を兼用することも想定

活動イメージ

- 会議
- 講演会

参考施設



高槻城公園芸術文化劇場
会議室系スタジオ(83㎡)



安来市総合文化ホールアルテピア
会議室(34㎡)

※左右のパーテーションを取り外して、
部屋をくっつけることが可能



大和市文化創造拠点シリウス
講習室(定員145名・防音)

交流スペース

市民の誰もが創造し・表現することのできる文化芸術に係る『クリエイティブ空間』

機能・規模のイメージ

- 多様な活動に対応できるスペース
- 特定のジャンルに縛られない多機能に活用可能なスペース
- 市民活動・ワークスペースとしての活用のほか、少人数を対象とした演劇、音楽イベントなどクリエイティブな活動にも対応できる空間

活動イメージ

- 演奏会、展示等多様な活動に対応
- 市民活動・ワークスペースとしての活用
- ワークショップや体験イベントでの利用

検討すべき事項

- どのような対象・内容の活動を想定するか検討が必要

参考施設



山口情報芸術センタースタジオB

※照明や音響など設えを整えることで、異なる使い方（イベント等）にも対応



山口情報芸術センター
コミュニティスペース

※ワークショップやレクチャーが可能



東大阪市文化創造館
創造支援室A

※流し台付
※工芸、絵画等の作品創りや展示等に利用可能

展示スペース

使い勝手の良い『展示スペース兼イベントスペース』

機能・規模のイメージ

- 500～600㎡の展示スペース
- 可動間仕切りで分割可能とする

活動イメージ

- 現在、行われている展示系イベント
- ※市美術展は規模が大きいいため、従来通り、県立博物館の使用を想定

参考施設



せんだいメディアテーク ギャラリー3300

※稼働間仕切りで分割して利用可能



栗東芸術文化会館SAKIRA 展示室

※天井が高く、大きな作品にも対応可能
※中庭との一体利用が可能

収蔵・保管スペース

収蔵と展示を兼ね備えた『見える収蔵庫』

機能・規模のイメージ

- 地元芸術家などの作品を収蔵するとともに、外から見える展示も兼ね備える

活動イメージ

- 収蔵作品の一部を見せる

参考施設



宮城県美術館 収蔵庫（リニューアルイメージ）

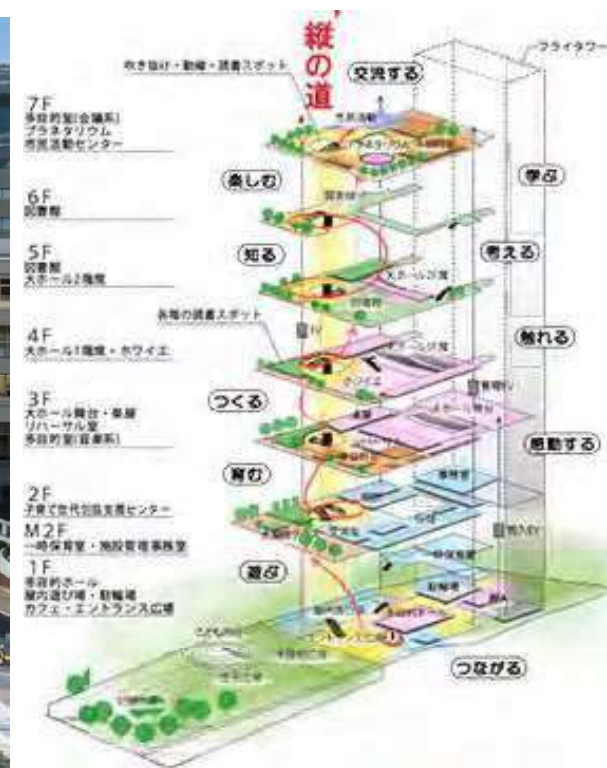
※収蔵庫の一部がガラス張りになっており、
外から鑑賞することが可能



デポ・ボイマンス・ファン・ベーニンゲン（オランダ）

※世界で初めて一般公開された美術品保管施設

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）



茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」は、2023年11月にオープンした延床面積約20,000㎡の複合施設。子育て、文化芸術、市民活動の拠点として、以下の機能を備える。

- こども支援センター、子ども広場
- 図書館
- 市民活動センター
- ホール、その他オープンスペース
- プラネタリウム

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）

広場～エントランス



エントランス部のガラスは観音開き可能。多目的ホール、エントランス、広場を一体的に利用することが可能。



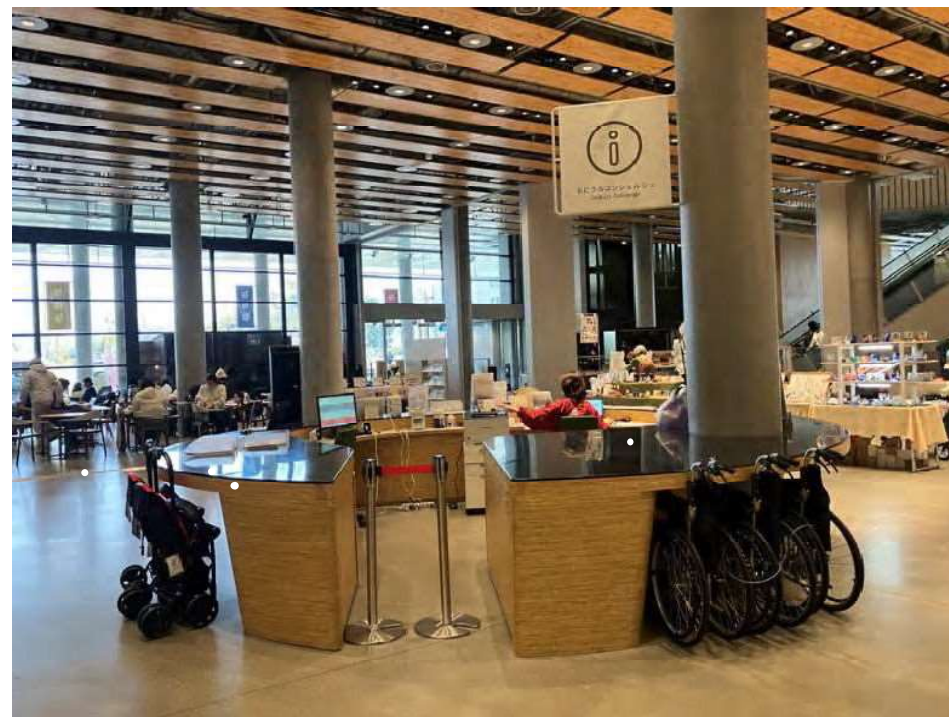
広場とエントランスの間に位置する大屋根広場には、キッチンカーが並ぶ。

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）

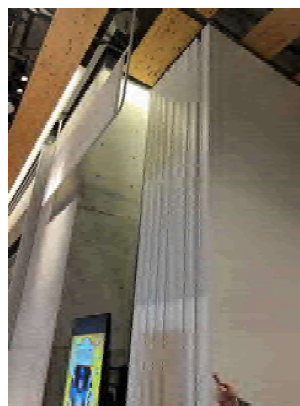
エントランス



エントランス部分でマルシェ等の開催が可能。
奥はガラス張りの多目的ホール。



9時から21時まで「おにクルコンシェルジュ」には
常時スタッフが配置。



天井にはレールが通っており、
大型の展示パネルが設置可能。

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）

多目的ホール



245脚のイスを並べることができる多目的ホール。



床は可動式で、フラットな平土間とすることも
段差式にすることも可能。
後ろ側の壁はガラス張りになっており、開け放つことも可能。
（開け放つと、エントランスと一体的な空間となる）

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）

ホール（1200席）



約1200人を収容するホール。
音響反射板を備え、会議・集会のほか、
音楽・合唱にも利用可能。



ホールに付属する楽屋。
カーテンを開けることで、施設内からも見える空間となる。

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）

貸室（クッキングラボ、多目的室）



72㎡のクッキングラボ。
ガラス張りでエントランスから見えるようになっている。



手前から37㎡、58㎡の多目的室。
ガラス張りになっており、カーテンで目隠しすることも可能。

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）

貸室（リハーサル室）、交流ホワイエ



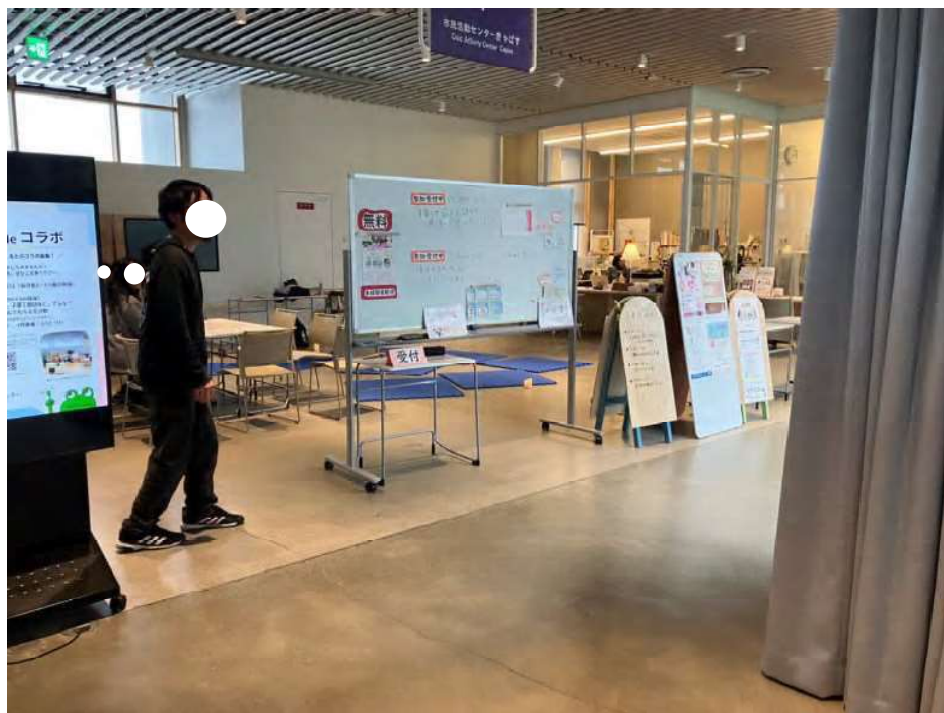
166㎡のリハーサル室。
ガラス張りになっており、カーテンで目隠しすることも可能。



無料で誰でも利用することができる交流ホワイエ。

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）

市民交流スペース



無料で利用することができる市民交流スペース。
机、いす、パーティションの利用が可能。



市民活動のために利用できる作業スペース。
印刷機やラミネーター等を備える。

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）

コワーキングスペース



コワーキングスペース内のフリースペース。
100円/時間で利用可能。



コワーキングスペース内のパーソナルスペース。
200円/時間で利用可能。

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（大阪府茨木市）

図書館



5～6階を中心に書籍が配架されており、2～4階には、各フロアの諸室と関連した書籍が配架されている。



5～6階を中心に閲覧スペースがあるが、書籍は施設内のどこでも読むことが可能。



本棚のプレートは簡単に取り外し可能で、可変性のあるデザインとなっている。



出入口付近には自動貸し出し機が設置されている。

■ 基本機能のイメージに対する委員のご意見

分類	主なご意見
全般	・段階的な整備（駅前再整備と拠点整備）については触れられないのか（市民が気軽に使用でき、見る・見られるの関係で交流を促す施設は「駅前」、はっきりとした目的を持って来訪する施設は「拠点」が良い）
1 ホール機能	・拠点では、固定席の本格的ホール（音響重視）、駅前の場合は、自由に使用できる平土間空間 ・小規模は仕方がないが、500席以上は必要 ・平土間空間にもなる（電動収納による座席を入れる）のは、保守点検に高額な費用が必要。人が歩くたびに床が振動する、長時間の滞在を快適に座ることが大前提のコンテンツ（演劇・コンサートなど）の場合、簡素な椅子であれば30分しか持たない。高齢者から不満が生じる
2 練習スペース	●練習室の大きさ ・最小が20㎡は少し小さすぎる（30㎡～40㎡、最大が100㎡程度） ・団体利用が多いため、20-50人規模を3室、個人・アンサンブル・バンド向けに10人を3室程度 ●性能全般 ・防音機能は必須 ・どの諸室も、防音と大型楽器、空調以外に特殊な設備は不要 ●見せる練習室 ・貸館エリアにだれでも自由に出入りできることになるため、利用者の安全、保安上の問題（事故、盗難、盗撮その他リスク）に課題あり（施設管理者の手数を増やすことになる）
3 交流スペース	●会議室 ・多目的利用を念頭に防音機能が必要（音楽利用にも使える。稼働率や不測の事態、全館貸切利用での催し物において、融通性、機能性が高まる） ・会議室の中に、アートレールを備えてあると、展示にも使用可能 ・大きさ：最大100㎡、それ以上はクリエイティブ空間、ホールを利用。ホールは平土間にできる前提） ・複数諸室の一体利用に関し、「遮音性がなくなる」「色々な使える」を目指すとかえって使いにくいものになる傾向がある」ことが懸念 ●「クリエイティブ空間」について ・事例では想定している活動の対象の幅が広すぎる気がする（身体表現系の創作活動、ワークショップ、水場を必要とする華道や書道、絵画といった活動を想定しているが） ・大小の練習室や会議室の利用で代替できるのではないか（その分、一番大きい練習室や会議室は少し大きめ（150㎡程度？）に想定しても良いのかもしれない） ・「クリエイティブ空間」は、そこに行けば常に何かをやっていて、市民同士や県外・国外を含め、様々な交流が生まれる場所。本格的な文化施設が整備されるまで、市民の文化活動の醸成を図る。 ●その他 ・貸館であるなら、きちんと区画を区切った部屋であるべき（有料、無料の区間の混在、仕切りがあいまいな場合は管理しにくい）
4 展示スペース	－
5 展示スペース	・展示スペースを作るのであれば、常に展示できるコレクションがあって有料展示し、市民ギャラリーとして利用の際には片づけることができればよい（常設でインバウンド集客も期待）。誰も来ない展示施設は投資の無駄

分類	主なご意見
6 収蔵・保管スペース	・何をどのくらい収蔵するのかがなければ、どのような理屈をこねても必要なものが作れない（無限に収蔵できるのであれば美術館を作らねばならず、必要か） ・現役の市中作家の作品を収蔵していくのは、存命の方の思惑や恣意が入り、本当に残すべきものを選べなくなる。別の議論とすべき（雇われた学芸員も困る）。個人的に見せる収蔵庫は鳥取市には不適なものとする
7 駐車場	・鳥取感覚だと「無料」で「近く」に「必ず駐車できる」だが、受益者負担はある程度仕方ない（ある程度の有料化がないと、部外者の目的外利用で迷惑を被る） ・全市的にパークアンドライドの仕組みを考えるべき
8 育成・発信機能	・芸術監督を置くのは反対（鳥取市の県民性に県外の方はフィットしない）

統合・再編の方向性

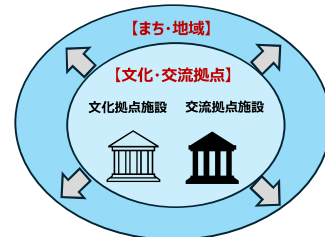
【基本的な考え方（方向性）】

● 統合・再編

- ・対象4施設の統合・再編では、**基本機能を踏まえつつ整備することを想定**
- ・**拠点とまち・地域がつながり、拠点での活動がまち全体にひろがることを目指す**
- ・再編後の施設規模は、**既存施設規模の約3割減を目指す**

☞「鳥取市公共施設再配置基本計画」では、40年間で施設総延床面積の29%縮減を目標としている

【再編後の拠点のイメージ】



● 既存施設の取扱い

- ・福祉文化会館：耐震性がないため、機能は廃止・解体する
- ・市民会館、文化センター・ホール：当面は改修して使用を継続するが、「整備のイメージ（例）」に示す通り、整備する立地や規模等を踏まえた計画に応じて、建替えもしくは改修を行う

具体的な立地や規模は、並行して進む各種関連計画の検討状況、基本計画の策定や鳥取市公共施設再配置のあり方を踏まえて検討を行う。

【整備のイメージ（例）】

整備する文化施設は、すべての機能を統合して単体の施設として一か所に整備するケースも考えられるが、立地や規模にもより、例えば、以下のような整備例が想定される

・整備例 1：

特性が類似するホール・練習室を中心とした拠点施設と、それ以外の機能を含む交流施設で再編

・整備例 2：

ホール・練習室・展示等の目的をもって来訪する拠点施設と、市民が気軽に使用でき、見る・みられるの関係で交流を促す交流施設に再編

機能		整備例 1		整備例 2	
		【駅周辺】 文化拠点施設	【中心拠点】 文化交流施設	【駅周辺】 文化創造活動 賑わい創出拠点	【中心拠点】 文化拠点施設
ホール	『ホール機能』	○			○
練習スペース	『防音性能の高い練習室』	○			○
	『見える練習室』		○		○
交流スペース	『交流スペース・会議室』	○	○	○（会議室）	○
	『クリエイティブ空間』		—	○	
展示スペース	『展示スペース兼イベントスペース』	○			○
収蔵・保管スペース	『見える収蔵庫』		○		○
駐車場	『使いやすい駐車場』	○	○	○	○

※育成・発信機能（交流スペースなど他の施設と共用）